

東北海区沿岸水温予報(2022年)

海域	経過 (12～1月)	現況(2月上旬～ 2月中旬)	見通し (3～4月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<ul style="list-style-type: none"> 定地水温:12月 は 平年並み～きわめて高め、1月 は 平年並みで推移した。 12月の海洋観測の結果、津軽暖流域の0m、50m、100m各層の最高水温はいずれもやや高めであった。また、津軽暖流の水塊深度はやや浅め、東方への張り出しは平年並みであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 定地水温:平年並み～やや低めで推移。 2月の日本海海洋観測の結果、対馬暖流域の最高水温は0m、50m層で平年並み、100m層でやや高めであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 津軽暖流域の水温は平年並み～やや低めで推移する。 	<ul style="list-style-type: none"> 直近の太平洋沿岸定地水温、日本海海洋観測結果とも平年並み基調で推移しており、太平洋および我が国周辺の漁海況予測システムFRA-ROMSでは、沿岸域は平年並み～やや低め傾向と予測されている。 気象庁の季節予報によると、3～4月の気温は平年並み～高めと予報されている。 	
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>【12月】(11/26～12/5) 《表面水温》 10海里以内は13～14℃台であり、県北部沖から県中部沖でやや高め、県南部沖で平年並み～やや高めであった。 10海里以遠は13～14℃台であり、県北部沖から県中部沖でやや高め、県南部沖でやや低め～平年並みであった。 《100m深水温》 10海里以内は13～15℃台であり、県北部沖から県中部沖でやや高め～高め、県南部沖で平年並み～やや高めであった。 10海里以遠は11～15℃台であり、県北部沖から県中部沖でやや高め～高め、県南部沖で平年並み～やや高めであった。</p> <p>【1月】 荒天のため欠測となった。</p>	<p>【2月】(2/8～2/9) 《表面水温》 10海里以内は0～7℃台であり、県中部沖で平年並み～やや高め、県北部沖及び県南部沖で平年並み～極めて低めであった。 10海里以遠は0～6℃台であり、県北部沖で低め～極めて低め、県中部沖で極めて低め、県南部沖で平年並み～極めて低めであった。 《100m深水温》 10海里以内は5～7℃台であり、県北部沖で平年並み～やや低め、県中部沖で平年並み～やや高め、県南部沖で平年並み～やや低めであった。 10海里以遠は1～7℃台であり、県北部沖でやや低め～低め、県中部沖で低め、県南部沖で平年並み～低めであった。</p>	<p>【3月】 100m深の水温は県中部から県南部の沖合域でやや低め、各0海里定点の10m深は黒埼、トドヶ崎、椿島で低め、尾崎で極めて低めと予測された。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>1月のニシン水揚量は32トンで、過去10年比で17倍となっていた。</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>仙台湾口南部に水温の高い(最大+4℃)黒潮系暖水が迫っているが、仙台湾表層は平年より1℃程度低め。</p>	<p>142° 30' 以東を親潮系冷水が南下しており最大4℃低め。</p>	<p>142° 30' 以東を親潮系冷水が南下しており水深100mでは最大4℃低めだが、仙台湾南部には黒潮系暖水が波及し表層で2℃程度高めとなる見込み。</p>	<p>FRA-ROMSによる。</p>	
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)	<p>【12月】 《100m深水温》 県北沿岸は「やや低め」 県中沿岸は「やや低め」 県南沿岸は「やや低め」</p> <p>【1月】 県北沿岸は「」 県中沿岸は「」 県南沿岸は「平年並み」</p> <p>※県北:37° 50'N、県中:37° 25'N 県南:37° 00'N 沿岸:142° 00'E以西、 沖合:142° 15'E以東</p>	<p>【2月上旬～中旬】 《100m深水温》 県北沿岸は平年並み、 沖合は未実施。 県中沿岸は「平年並み」、 沖合は未実施。 県南沿岸は「やや高め」、 沖合は未実施。</p>	<p>【3月】 「平年並み」もしくは「平年よりやや高め」で推移する。</p> <p>【4月】 「平年並み」で推移する。</p>	<p>2019年に国立研究開発法人 水産研究・教育機構が作成した自己回帰分析を用いた予測モデルによると、3月の100m深水温は「平年並み」もしくは「平年よりやや低め」、4月は「平年並み」で推移すると予測された。</p> <p>気象庁の海面水温・海流1ヶ月予報(2月10日発表)によると、3月10日までの本州東方の海面水温は「平年並か平年より高い」見込みであり、親潮南限位置は「37.5°N、142.5°E付近になる」見込みであり、「面積は平年並か平年より小さいか」と予測されている。</p> <p>また、FRA-ROMSによる100m深水温の予測によると、福島県海域では3月は平年より1～2℃高い海域が広がると予測されている。</p> <p>以上のことから、3月～4月にかけて「平年並み」もしくは「やや高め」で推移すると予測する。</p>	
常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)	<p>【12月】 前月と比較すると、会瀬定線の141° 30' E付近で昇温傾向、鹿島定線の141° 15' E付近で降温傾向</p>	<p>【2月】 0～50m深で9～18℃台の水温、100m深で8～17℃台の水温となった。前月と比</p>	<p>「平年並～やや高め」で推移する見通し。親潮第一分枝が本県海域まで</p>	<p>①黒潮統流は北偏傾向で推移し、断続的に本県海域に断続的に暖水波及が発</p>	<p>特になし。</p>

<p>となった。平年と比較すると、0～100m深で「平年並～高め」、200m深で「低め～極めて高め」となった。</p> <p>【1月】 前月と比べると、沿岸域で昇温傾向、沖合域で降温傾向となった。平年と比較すると、全体的に「平年並～やや高め」となり、100m深の北部沖合で「高め」の地点がみられた。</p>	<p>較すると、全体的に降温傾向となった。特に沖合では前月よりも5℃以上降温した地点がみられた。平年と比較すると、全層で「平年並～やや高め」が多くを占めたが、大洗定線の142° E付近では「やや低め」となった。</p>	<p>南下した際は一時的に「低め」となる。</p>	<p>生ずる可能性があること。 ②親潮第一分枝が本県沿岸まで南下する可能性は低いこと。 ③以上より、今後の水温は、「平年並～やや高め」で推移し、親潮第一分枝が本県海域まで南下した際は一時的に「低め」となる可能性がある。</p>
---	---	---------------------------	---

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.3℃～	+3.8℃～	+6.1℃～	+5.8℃～	+4.9℃～	+6.1℃～
高い(7.5%)	+2.2～+3.2℃	+2.4～+3.7℃	+3.9～+6.0℃	+3.8～+5.7℃	+3.2～+4.8℃	+4.0～+6.0℃
やや高い(20%)	+0.9～+2.1℃	+1.0～+2.3℃	+1.6～+3.8℃	+1.5～+3.7℃	+1.3～+3.1℃	+1.6～+3.9℃
平年並(40%)	+0.8～-0.8℃	+0.9～-0.9℃	+1.5～-1.5℃	+1.4～-1.4℃	+1.2～-1.2℃	+1.5～-1.5℃
やや低い(20%)	-0.9～-2.1℃	-1.0～-2.3℃	-1.6～-3.8℃	-1.5～-3.7℃	-1.3～-3.1℃	-1.6～-3.9℃
低い(7.5%)	-2.2～-3.2℃	-2.4～-3.7℃	-3.9～-6.0℃	-3.8～-5.7℃	-3.2～-4.8℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.2℃～	-3.8℃～	-6.1℃～	-5.8℃～	-4.9℃～	-6.1℃～